



関西万博がつないでくれたもの



約2年前、6年生が4年生の時です。豊彩窯の吉田さんのご指導で、越前焼のクレイバー（陶製タイル）を作りました。関西万博のパビリオン「いのちの遊び場クラゲ館」の空間演出に、日本六古窯の土で作られたクレイバーを用いる、という企画に参加したのです。

そのころはまだ実感がもてませんでしたが、子どもたちの心には「6年生になったら修学旅行で万博に行って、このクレイバーが使われているところを見たいな」という思いが、芽生えていたと思います。

その願いが実り、修学旅行で関西万博を訪ね、クラゲ館に向かいました。

土によって、少しずつ色が異なるクレイバーでつくられた空間を涼しげに水が流れ、色とりどりのアートや音楽があふれる中を、世界中の人々が行き交っていました。そこに自分たちの手によるものがあるという満足感は、確かに世界とのつながりを実感させてくれるものでした。



2年前 窯元さんとクレイバーを制作

1 主体的な学びづくり 2 創造的な学びづくり 3 成長を支える環境づくり

の三つを重点目標に、教育活動に取り組んでいます。今回は「2 創造的な学びづくり」より、「自らつくる健康な体、健康な生活」の実践をお知らせします。

1000mを走り抜く 体と心を育てて

生涯にわたって健康な生活を送ることは、すべての人の願いです。そのためには、食生活を整え、適切な睡眠をとるなどと共に、自分に合った運動習慣をもつことが大切です。自ら健康な体をつくろうとすること、そのためにどうすればよいか考えることをめざす取組の一つとして、1000m走タイムトライアルを実施しています。

1年生から6年生まで、全員が1000m走のタイムを測定します。一人一人の成長を確かめることができるよう、距離を変えずに、6年間継続していきます。

グラウンドを1周してから、校舎の周りを2周して1000m。自分が決めた目標記録を達成するには、どのように走るとよいかを考えて走ります。苦しいけれど、目標に向かって最後まで粘り強く走り切ることができるよう、体育の時間に練習を重ねました。



健康委員会も工夫して自主練習を後押し

健康委員会の児童は、昼の放送で自主練習を呼びかけ、走るリズムをつくってくれる曲をかけたり、スタンプカードを作ったりと、意欲を高める応援活動を考えてくれました。この練習は全校一斉ではなく、強制でもありません。走りたい子が集まり、自分が決めた距離を走ります。

記録には個人差が生まれますが、子どもたちは力走する仲間に大きな声援を送り、がんばりを認め合うことができました。

目標に届かず悔しい思いをする子もいますが、そういった経験も大切にし、乗り越えてほしいです。何より、目標に向かって走り切った充実感が、子どもたちを育ててくれるように思います。

タイムトライアル当日は、たくさんのご家族の方がかけつけてくださり、温かい言葉や拍手で応援してくださいました。



友達や家族の声援を受けて